

# 輝かしい 一生ものの思い出



「えーん、えーん、ママー!!」思い起こせば3年半前、3歳になったばかりの息子は泣きながら初めてたけの子へと出発しました。

息子と長時間離れるのは、この時が初めて。3番目の子とはいえ、初めて離れる時は切ない気持ちになりました。

2011年、震災の年から3年間カナダに避難して、息子が話す言葉は英語と日本語のどちらやまぜ。さて、意思疎通ができるのか？福島から米沢の長距離移動は大丈夫なのか？などと心配しながら送り出しました。

震災の年、主人の家族はとても心配をしてカナダに引越しておいでと。子どもたちの事を考えカナダに引越したものの、海外に出てみると日本の良さが分かります。色々なこともありカナダも良いけれど、福島に戻った場合どうしたらそれ程放射能の心配なく生活できるのか？子ども達は今のようにならぬ外で遊べるのか？そんな事を考えていた時に、友達がフェイスブックで“いいね”をしていた、たけの子をブログで見て、とても興味が湧き、帰国したら息子はたけの子に通わせようと決めました。

私は子ども頃、福島でも田舎の方で育ちました。地域の方々が家族のようにとても温かく接してくれました。たけの子に関わってくれてくれる米沢の方々、環境から私が子ども頃感じた温かく優しい気持ちがいっぱい出されます。会った時には、あいさつをし、困っている時は助け合い、あぶない時には声をかけてくれたり、食べ物をおげたり、もったりとても親身に関わってくれました。

たけの子では、野外保育という事もあり、普通の幼稚園では経験できない事をたくさんさせていただきました。私が見ていたら、止めたり、手伝ってしまう事も…。遊具は、木でできていて登ってみると大人でも高く感じます。大きい子どもは上まで登って途中からジャンプ。息子は初め、登ることすら助けを求めていましたが、「お母さん、たけの子では助けませんよ」と言われ、それまで、子どもが言うがままに助けて、遊びたいように遊ばせてきた私には衝撃でした。よく考えてみたら、昔はいつも大人が付いて遊ぶことはなく、大きい子を見て真似したり、まだできなくて悔しくなったり、大きい子に憧れたりという経験ができました。たけの子ではそういった事を大切にしてくれています。

ある時は、ノコギリやトンカチを使って木を切りクギを打つ。さすがにそれはまだ危ないと口を出しそうに…。やってみる事、ケガをする事でも自身で覚えられるのです。畑で種をまき、野菜を育て、芽が出て、「ママ、これはにんじんだよ。これは…」と次々と教えてくれ、いつの間にか詳しくなっていました。野菜が育つと収穫して、その野菜を包丁を使って切って料理を作る。入園当初は、食べられる野菜が片手で数えられる程だった息子も、今では野菜はもろろん、私の知らない野草・山菜・花までも食べられるようになりました。何年経ってもイナゴは食べられないようですが、捕らえるのはプロなみです。

震災から7年が経とうとしています。だんだんと放射能に対する意識は薄れ、自然中での遊び、日本ならではの文化が減ってきているように感じます。たけの子では、このような事の情報提供、体験が盛りだくさんです。

わらべうたに、自分の年の数(㎞)を歩く、丸裸で川遊び、どろんこになつたり、落とし穴を作

ったり、急な坂をソリで滑る…。ここには書ききれない程、たくさんの方が思い出されます。大切な幼少期をたけの子に通う事ができて良かった。こういった、たくさんの方々の経験ができたのも、個性豊かなお友達、いつも心温かく子ども達を見守り、支えて下さったスタッフの方々をはじめ、地域の方々、全国からボランティアに来てくださった方々、物資を送ってくれた方々、寄付や支援をして下さった方々のおかげです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。(保護者) ホーレス アユ

寄付や支援をいただいた方々 2月 順不同

支援金 渡部 鋭幸様 寺屋 圭子様

松本 貞子様 我孫子発代様

他有志一同様

りんご 遠藤 裕紀子様  
ボランティア 大貫 友夫様 細谷 洋一様

gooddo ご支援金の御礼

<12月ご支援金> 2,451円

<1月ご支援金> 1,914円

gooddo いいね!のクリック応援は、

1月28日で終了となりました。

たくさんのクリックをありがとうございました。

商品の購入での支援は継続しております。ご支援をよろしくお願い致します。

